

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市野庭地域ケアプラザ

■ 事業報告

1 全事業共通

地域の現状と課題について

<地域の現状>

担当エリア地域では、

- ①高齢化率が 36%に達しています。
- ②単身、高齢者世帯の方が増加しています。
- ③認知症一人暮らし世帯の方が増加しています。
- ④認知症の方其々に個別性を求められる支援が多くなり、社会状況の変化に伴い、複数、問題を抱えたケースの対応に、専門職として関わり、社会的資源を有している地域住民や支援者、各関係機関との連携の下、問題解決を図るネットワークづくりに、「野庭地域において身近な福祉保健の拠点」としての役割を果たしています。

<地域の課題>

- ①高齢者夫婦、認知症世帯、独居等の増加で、介護保険事業者・近隣等からの安否確認の問い合わせが増えています。
- ②困難を抱えた対象者や家族等が引き起こす地域・近隣とのトラブルが年毎に増加しています。
- ③深い問題、課題のある個別相談が増えており、各関係機関・関連団体との緊密な連携が必要です。
- ④地域活動を担う役員、住民、ボランティア等の高齢化で、支援者の減少や後継者が不足し、小さなコミュニティでの見守り支えあいができる仕組みが急務です。

(1)相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- ① 地域住民や関係機関を対象に出前講座を 15 回開催（3 月末：15 団体 588 名）。ケアプラザが高齢者・障がい・子ども等の幅広い相談窓口であることを PR。また「港南区版生活支援 Co 紹介パンフレット」を配布・配架し、生活支援体制整備事業の普及啓発に努めました。
- ② 高齢者、子育て支援、障がい、健康づくり関係の自主事業の際にケアプラザが地域住民の為の幅広い相談窓口であることを PR しました。
- ③ 地域行事への参加の際、ケアプラザ事業紹介の看板を設置、また広報紙や事業案内等を配布して PR を行いました。
- ④ のば生活応援マップや広報紙等を利用し、地域ケアプラザが地域の相談窓口であることを PR しました。
- ⑤ 「ひまわりホルダー」は現在、390 名（3 月末現在）の登録があります。窓口での登録申込みをきっかけに、はじめて地域ケアプラザに来館された方に対してもケアプラザが地域の総合相談窓口であることを PR しました。

- ⑥ のば生活応援マップは、相談窓口対応で地域資源やインフォーマルサービスを説明する際に活用しています。
- ⑦ 基幹相談支援センター、区役所、包括支援センターの担当者が情報共有の場を持ち、野庭エリアの状況の共有を行った。障害のある方へのサポートは地域住民、支援者間のネットワーク（繋がり）が今後の課題としてあがっています。
- ⑧ 地域住民からの相談・問い合わせ・住民の方との日々の対応の中から、ケアプラザ職員間で共有の必要性のあるものは会議や回覧、毎日のコミュニケーション等で情報共有し適切に対応出来るよう努めました。

(2) 各事業の連携

- ① ・5職種会議は月1回定期的開催
 - ・港南ひまわりプラン、地域課題の共有
 - ・共催事業の反省、検討、確認
- ② 総合相談票、事業実施記録、各種連絡会実施記録は5職種間で回覧し情報共有。
- ③ 5職種協働での事業運営
 - ・のば元気のちかみちネットワーク2回開催
 - ・見守りネットのば連絡会 1回開催
 - ・のば生活応援マップの活用
 - ・団暖会ぽかぽかハートネットワーク2回開催
 - ・地域ケア会議 1回開催
 - ・のばあんしん登録・ひまわりホルダー（登録390名 3月末現在）
 - ・にこにこ野庭サロン（10回開催）
 - ・野庭ふれあいまつり（10月1日開催）
 - ・出前講座 15回 588名（3月末時点）
 - ・ボランティア活動の支援
- ④ 見守りネットのば協定事業者に通信を発行（1回）、連絡会を欠席された方も含めての情報提供、情報共有に努めました。
- ⑤ 地域ケア会議 1回開催
 「加齢により、身体機能、認知力の低下がみられ、日常生活をうまく送ることができない場合について」をテーマに実施しました。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ① 地域ケアプラザ人員配置基準に沿った職員体制を確保しています。
- ② 職員研修は、年間計画通り開催しています。
- ③ 法人教育責任者会議主催で、労災の基礎知識に関する勉強会、メンタルヘルス研修（職場におけるこころの健康づくり 講師：区健康づくり係）を開催しました。
- ④ かながわ高齢者福祉研究大会に「1から始める所内連携と地域支援」で1チーム参加しました。
- ⑤ 職員に、接遇に関する個人目標を設定させ、職員接遇目標一覧表にして職員休憩所に掲示し共有しました。
- ⑥ 安全衛生委員会を月1回開催。快適な環境と労働災害の防止について、職員間で情報共有を行いました。
- ⑦ 包括会議及び居宅支援会議では、利用者への適正な事業者情報の提供方法について確認・共有しました。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

<地区別地福計画の推進>

港南ひまわりプランとのつながりを実感できるよう各地区別計画の中間振り返りを行うなど活動支援に努めました。

① 野庭住宅地区

- ・にじいろさんごプラン推進委員会の開催支援
- ・意見交換会の開催支援（6月、12月）
- ・にじいろさんごプランにおける単会活動の支援
 - ※第1自治会（助け合いボランティア見守り訪問）
 - ※第2自治会（子どもたちを地域活動に引き付けるプロジェクト支援）
 - ※第4自治会（住民ボランティア見守り活動）
 - ※第6自治会（住民全体で災害に備えよう）

② 野庭団地地区

- ・いきいき健やかふるさと♥のば推進委員会の開催支援
- ・地域支えあいネットワーク会議の開催支援（6月、10月、2月開催）

③ 永野地区

- ・くじら計画推進委員会の開催支援
- ・全体会議の開催支援（6月、2月開催）

<地域福祉ネットワークの構築>

- ①見守りネットのば、ゆるやかな見守り体制の構築に向けて、包括・生活支援と共催で、「地域の助け合い・支えあい研修」を開催しました。（24団体 57名参加）
- ②見守りネットのば協定業者、のば生活応援マップ事業対象団体に向け港南区の見守り事業の概要を説明し協力を求めました。（野庭エリア協力事業者数 29団体）
- ③のばこども食堂の運営を支援し毎月1回開催しています。
支援団体を中心に主任児童委員、保護司、区社協、養護老人ホーム、区生活困窮担当、こども家庭支援課と連携し地域に根ざした開催になるよう努めました。

(5) 区行政との協働

- ①港南ひまわりプランに関して、地域住民・活動団体の方々が、其々の立場でできることを支援し地域のつながりや支えあいのネットワークが充実するように区役所と連携して推進しています。
- ②ひまわりホルダー、見守り協力事業者事業を区と協働で推進しています。
- ③各地区（野庭住宅、野庭団地、永野）の区役所担当職員と定期的に地域に関する情報や支援の方向性の共有を図り、連携した地域支援・個別支援を行いました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

① 齢者支援事業

- ・ 男性クッキングのば（12回開催 83名）
- ・ にこにこ野庭サロン（10回開催 228名）
- ・ うたの広場（3回開催 126名）
- ・ ぶらっとランチ開催支援（16回開催 1029名）

② 障がい者[児]支援事業

- ・ 港南なつっこの開催支援（8月6日）
- ・ こうなん来夢出張販売の場の提供

③ 子育て、子ども支援事業

- ・ 子育てママ健康美ヨガ（10回開催 109名）
- ・ ママと子のおしゃべりサロン（10回開催 178名）
- ・ どれみの森のおともだち（10回開催 301名）
- ・ のばこども食堂の開催支援（12回開催 233名）

④ ボランティア支援事業

- ・ 団暖会ぽかぽかハートネットワーク（2回開催 82名 勉強会&交流会、CP協力医の講演会）

⑤ 地域との交流事業

- ・ 野庭住宅連合夏祭り模擬店出店（8月18日）
- ・ 野庭ふれあいまつり開催（10月7日）
- ・ 港南区こどもフェスティバル参加・支援（11月7日）
- ・ 野庭団地福祉の集い参加（11月11日）
- ・ 野庭住宅チャリティバザー模擬店出店（11月25日）

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

① 貸館利用のPR

- ・ 貸館利用の実績を所内で共有して利用率の促進を検討
- ・ 貸館利用内容チラシと空き情報をCP入口に掲示
- ・ 広報紙、HPに貸館の利用案内を掲載

② 団体Ⅰが定期的、継続的に活動できる場の提供

ふれあい会（野庭住宅地区保活事業）、ひばり会（野庭団地地区社協事業）、元気のちかみち隊（介護予防ボランティア）、ひざちゃんクラブ（健康づくり）、のびるの会（認知症予防体操）、こんぺいとう倶楽部（のばこども食堂）、ポンポンクラブ（障害児者家族の居場所）、野庭をあじわう（世代間交流の企画）、ぶらっとランチ（世代間交流食事会）、

③ 団体Ⅰ・団体Ⅱの活躍できる場のコーディネート

- ・ にこにこ野庭サロン（野庭自彊術）
- ・ ぶらっとランチ（コールまり）
- ・ 野庭ふれあいまつり（NOVAメイトの会、こうなん来夢、こんぺいとう倶楽部、3地区保活）
- ・ ハロウィン大会（山の子）
- ・ 港南なつっこ（ハイビスカス、野庭をあじわう）
- ・ みぢかな芸術家たち（菱城会、美芳会、野庭写楽会、雪月花、墨己会）
- ・ 通所介護事業への催し物活動
こころをつなぐコーラス、傾聴のば、紫乃会、ことだまの会、野庭民舞の会、アロハウクレレ同好会、フレンズ、ぱふぱふ等

- ④快適に利用できる環境づくり
- ・貸館登録団体へのアンケート内容に、職員接遇、施設を快適に利用できたかの項目を入れ要望には迅速に対応することができました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ①ボランティア支援事業「団暖会・ぽかぽかハートネットワーク」を開催。
＜テーマ：認知症について＞
- ・参加者は、ケアプラザで活動中の個人ボラに貸館団体Ⅰ、団体Ⅱの方々、デイサービス利用者家族も加え調整しました。
 - ・勉強会の内容は、認知症サポーター養成講座を開催し、NOBA メイトの会の方々を中心とした開催運営の支援が行えました。
 - ・八森先生の「認知症がある人の理解」の講演会では、認知症になっても住み慣れた野庭の地域で暮らしていける地域づくりについて考える機会となりました。
- ②子育てママの健康美ヨガは、親対象の母子分離で開催、主旨に賛同するボランティア 11 名が保育を担当し母親の活動をサポートしています。
- ③野庭ふれあいまつりにおいて、自主事業「男性クッキングのば」の皆さまに、模擬店出店ボランティアをコーディネートしました。
- ④野庭すずかけ小学校 6 年生からの出前講座依頼で車椅子使用方法を実施（11 月 15 日 60 名）、認知症サポーター養成講座を実施しました。（1 月 60 名）
- ⑤野庭中学校地域防災拠点訓練に参加し、福祉避難場所受け入れ訓練では、中学生が搬送役になり実施。その際、リヤカー、車椅子の操作が出来るよう指導しました。
- ⑥下野庭小学校地域防災拠点訓練に参加し、車椅子による階段昇降の移動介助方法を指導しました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ①広報紙を 6 回/年発行。新規事業案内、協力医からの情報提供、生活支援体制整備事業、通所介護情報等を掲載しました。（毎回 1700 部発行）
- ②「野庭地域ケアプラザ便り」を 1 回/月発行。行事カレンダー、包括による啓発、事業報告等を掲載、ケアプラザ入口等に掲示、配架しました。
- ③ホームページを 1 回/月更新し、広報紙や行事カレンダー、各種講座案内等の情報提供を行いました。
- ④のば生活応援マップは、自主事業参加者や来館相談者、電話問い合わせの際に、適宜、サブコーディネーターも情報提供に活用しています。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ①5 職種で 1 年間の事業計画（地域支援計画）を検討、作成することで各事業の目的を共有し協働で事業に取り組みました。
- ②港南区コーディネーター連絡会や区内の様々な取組（セカンドライフ、しゃべっちゃお等）に参加し生活支援体制整備事業推進のための情報を共有する機会となりました。
- ③「港南区版生活支援コーディネーター普及パンフレット」「のば生活応援マップ」を活用し、ケアプラザ事業や地域訪問時に配布・説明。生活支援体制整備に向けての理解促進に努めました。

- ④相談票の回覧・包括カンファレンス出席等で個別ケースについての理解を図りました。生活支援ニーズを持つ個別ケースへの対応について包括・関係団体とも協力しながら関与し、既存の介護保険外サービスへの取次ぎを行いました。（見守り、ふれあい収集等）
- ⑤「助け合い体験ゲーム」の出前講座を実施することで生活支援体制整備事業について広く周知することができました。
- ⑥ケアプラザ内の受付業務での来館者・ボランティアの方、貸し館利用者との関わりを通し、地域の実状や生活実態、ニーズ把握を行えるように努めました。
- ⑦男のセカンドライフ大学校では生活支援コーディネーターと連携し話し合いから参加して支援を行いました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ①「地域活動・サービスリスト」の更新
訪問した団体の活動を地域活動シートにまとめ5職種で共有し、それぞれの専門性を活かした活用が出来るよう努めました。
- ②港南ひまわりプラン地区別計画の支援より各団体の会合に参加することで地域資源の把握をするだけでなく顔の見える関係を築くことでネットワーク通じて地域資源を活用することにつながりました。
- ③「港南区生活支援コーディネーター連絡会」など区役所や区社協、他ケアプラザと情報共有の場には積極的に参加し地域情報の交換・収集に努めました。
- ④「予防プランミニ勉強会」を包括と共催（居宅11事業所 13名参加）
- ⑤広報誌「野庭の風」への寄稿（ささえあい情報・みまもり情報等）を毎号継続し把握した生活支援・地域活動情報を積極的に地域へ発信しました。
- ⑥地域資源情報誌「のぼ生活応援マップ」発行後は配布・配架を行い地域に向け、情報を還元しました。

(3) 連携・協議の場

- ①協議体「地域での支えあい研修会」を開催。（24団体 64名参加）
※配食業者、新聞配達、郵便局、店舗等の各事業者、民生委員、地区社協、ケアマネジャーや個人ボランティア、各種団体等、多種多様な活動をしている方々が参加し、それぞれが行っている見守り活動を発表し、意見交換の場を持つことができました。
- ②野庭エリアで介護予防・生活支援サービス補助事業に申請希望のある団体に対し、区役所と区社協とともに関わり申請に向けサポートを実施。
※ケアプラザ運営協議会の場で申請希望団体も同席し補助事業（サービスB）について周知し、生活支援体制整備事業が地域で展開できるよう働きかけました。
- ③元気づくりアクション「ひざちゃんクラブ」立ち上げ支援実施。（包括協働の支援）
※立ち上げまでに運営団体、区保健師職、運動講師と事前の打ち合わせの場を重ねました。
- ④野庭団地第14自治会サロン立ち上げ支援実施。（包括との協働支援）

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ①港南区の見守り事業の推進を念頭に野庭エリアの支え合い、見守りのネットワーク事業を積極的に展開しました。
- ②地域訪問やヒアリングの中で、住民の生活圈域・活動範囲についての情報把握に努めました。
- ③区内の永野地区を担当エリアとする生活支援コーディネーター間で永野地区への関与状況を共有し、今後の関わりについて情報共有を行いました。
- ④各地区の支援チーム会議、地区別計画推進会議に積極的に出席、地区別計画の推進をはじめ地域福祉の充実に向けた支援について支援チーム間で共有・協議しました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

①のば元気のちかみちネットワーク（全2回）

第1回「予防プランミニ勉強会」

予防プラン委託事業所11事業所のケアマネジャーと自立支援について意見交換、また地域の社会資源「のば生活応援マップ」について共有しました。

第2回 地域活動団体交流会 実施。5団体 参加者 15名

内容：「グループ活動の継続と活性化のために」

②団暖会ぽかぽかハートネットワーク（全2回）

第1回 認知症サポーター養成講座（参加者39名）

貸館登録団体、ボランティア登録者、NOBAメイトの会の参加者同士が認知症の本人や家族への対応について意見交換し地域づくりについて考えました。

第2回 認知症の理解（参加者43名）

③見守りネットのば連絡会「地域の助けあい・支えあい研修会」（12/20）

※生活支援の協議体と共催で開催

地域住民、事業者が行っている見守り活動の発表を受け、地域住民、事業者が一体となって野庭地域における見守り活動が行えるようなシステムづくりを目指し意見交換の場を持ちました。

④エリア内の第3期地福計画の推進支援を目的に地区別の意見交換会等の打ち合わせに、地域交流・生活支援コーディネーターと主任ケアマネジャーが出席。

⑤各自治会、地区民児協・地区社協の協力を得ながら、地域住民に地域包括支援センターの理解が深まるよう出前講座を実施（3月末：15団体588名）。

②実態把握

- ①利用者アンケートの結果より「介護保険の対象とならないサービスについて」詳しい説明がなかったとの回答が2割弱あり。予防支援の方が多く利用されているインフォーマルサービスの案内チラシを作成し、契約時に配布しました。（委託事業所にも配布）
- ②今年度上期の総合相談における「先行サービス利用の相談」について分析を実施。
 - ・上期の総合相談1073件中、57名から先行利用について相談がありました。
 - ・疾患は「がん」「認知症」「骨折」の順に、理由としては「退院に伴い」が先行利用にいたるケースが最も多い。これらの結果と分析から先行利用の実態を把握し、速

やかな対応以外に、先行サービス利用のリスク説明（説明書使用）や入院先の病院との連携に力を入れるなど先行利用への相談対応に反映する事ができました。

- ③外出できない方・地域との関わりが希薄な方に対し、地域の見守り活動とそれに関わる地区支援チームの職員と連携し、見守り訪問や介護保険の情報提供等の支援へつなぐことができました。
- ④安否確認の必要がある方・来館が難しい方については速やかに訪問し、関係機関と連絡・調整を行い、早期対応・解決に努めました。
- ⑤生活に困窮されている方、体調面で緊急対応が必要な方、安否確認が必要な方などの緊急性が高い相談については、区職員と随時連携を取り、速やかに対応し、その後も支援者同士情報を共有、連携し、継続した対応をすることで、適切な支援につなげることができました。

③総合相談支援

- ①既存の地域活動・地域資源情報の他、貸館情報、インフォーマル情報、同行・移送サービスの情報一覧を総合相談対応時に積極的に活用しました。
- ②月1回定例のカンファレンスを実施（年12回）、複雑な問題を抱えているケースについて共有・支援の方向性の確認を行うとともに総合相談から浮かび上がる地域課題についても共有・検討を行うことができました。
- ③定例のカンファレンスの機会の他にも、区の専門職と随時情報共有するとともに、ケアマネジャー・事業所・施設職員などとも連携し、それぞれ役割分担をし、支援の方向性を統一させて対応することができました。
- ④障害を持たれている本人・家族の相談対応をする場合に、基幹相談支援センターや区役所と連携し、高齢者本人の支援に留まらず世帯支援をチームで行えるよう努めました。
- ⑤ひまわりホルダーの登録件数は今年度390件、（3月末地点）登録の際には登録者の生活状況を確認するとともに、身近な相談機関としてケアプラザの周知に努めました。
- ⑥認知症、転倒骨折、末期がんなど退院後に支援を要するケースの先行サービスの利用が増加したことから、対応の際は病院、区役所、介護保険事業者等と連携し速やかにサービス調整ができるように努めました。

（2）権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ①研修や分科会・連絡会等で得た知識・情報を活用し、実際の成年後見制度やあんしんセンターの相談・活用事例に区役所・区社協と連携し対応する事ができました。
- ②職員間での制度理解・地域への普及啓発を目的に「成年後見制度」について情報提供の機会を設けることができました。
 - ・包括職員内 勉強会
 - ・職員研修（ケアプラザ全職員対象）
 - ・出前講座（すずかけクラブ・56名参加）
- ③悪質商法・詐欺の情報提供
 - ・広報誌「野庭の風」での情報発信（上期1回）
 - ・民児協にエリア内の詐欺の訴訟通知・電話内容を共有

②高齢者虐待への対応

①「転ばぬ先の杖」

テーマ：「『大人用おむつ』の選び方・使い方」（参加者 27 名）

大人用おむつの特徴・種類について実験・講義を交え、介護者・これから介護を行う方がおむつを適切に使えるよう情報提供を行った。

②介護者のつどい「なごみの会」

- ・介護者の孤立防止と休息、介護者同士の交流を図ることを目的に 10 回開催。
- ・ミニ勉強会「『配食サービスについて』」を開催。（5 名参加）
配食弁当の試食をし、説明・質疑応答、その後、茶話会にて介護をするうえでの食事の提供等について介護者同士の交流を図りました。

③虐待、又はその疑いがある相談を受けた際の対応について

- ・区職員へ報告した上で対応し、状況を確認。進捗状況をその都度報告し、支援方法や役割の確認を行いました。
- ・ケアマネジャーより虐待、又は虐待の疑いのある相談があった際には同行訪問し、相談後も継続的にフォローを実施しました。

③認知症

①NOBAメイトの会定例会（4 回）の開催支援（NOBAメイトの会の活動支援）

新しいキャラバンメイトと先輩メイトの交流に努めた。

※野庭エリアキャラバンメイト全員に議事録送付、地域での見守りについて検討

②認知症サポーター養成講座 4 回開催（延 128 名）

③野庭ふれあいまつり

NOBAメイト会が中心となり認知症普及啓発活動を実施。約 200 名の来場者に冊子やチラシを配布。

④キャラバンメイト養成研修への参加を呼びかけ

※30 年度はキャラバンメイト 1 名が増員

⑤団暖会ほかほかハートネットワーク（全 2 回）

第 1 回 認知症サポーター養成講座（参加者 39 名）

貸館登録団体、ボランティア登録者、NOBAメイトの会の参加者同士が認知症の本人や家族への対応について意見交換し地域づくりについて考えました。

第 2 回 認知症の理解（参加者 43 名）

⑥なごみの会を（介護者のつどい）を 10 回開催。

認知症の方の介護者の参加が多い。参加者同士の情報交換や交流の支援。

⑦地域への出前講座の際に SOS ネットワーク見守りシール事業、ひまわりホルダー事業の周知を行い見守りの体制づくりに努めました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ① ゆるやかな見守りネットワーク構築に向けて、生活支援 CO と共催で、「地域のたすけあい・支えあい研修」を開催。この研修には、配食事業者、新聞配達、郵便局、店舗等の各事業者にとどまらず、民生委員、地区社協、ケアマネジャーや個人ボランティア、各種団体等、多種多様な活動をしている方々の参加し、それぞれが行っている見守り活動を発表。(24 団体、57 名参加)地域住民と各事業者が一体となり、野庭地域における見守り活動を行うためのシステムづくりに努めました。
- ② 港南ひまわりプラン及び各地区別の地福計画の推進にむけて、野庭住宅第 6 自治会で行われているたすけあいボラの会合に出席。地域の方から気になる方についての情報提供を受け、必要に応じ、その方の日常生活の様子をケアマネジャーや区役所に伝えていくようにしました。
- ③ 今年度も「ひとり暮らし高齢者見守り事業」は区内全地区で実施。永野地区、野庭住宅地区、野庭団地地区への協力を行いました。

② 医療・介護の連携推進支援

- ① 定期的に地域ケアプラザ協力医と話し合いの場を設定。エリア内の高齢者の生活状況や時事的な話題を協力医と共有しました。また、野庭 CP 居宅のケアマネジャーが協力医に相談できる体制にしました。
- ② 医療に関する相談を受けた時は、必要に応じ、港南区在宅医療相談室を活用しました。
- ③ 今年度も区内開業医、ケアマネジャー、サービス提供事業者等のネットワーク構築、専門性の向上を目的に、「医福ネット港南」開催。回数を重ねるごとに、参加人数も増加。参加者が連携意識を強く持ちネットワーク構築に取り組むことが出来ています。「平成 30 年度 港南区 多職種連携研修」「3 班会（懇親会）」に出席し、地域の医療機関の医師と顔の見える関係づくりに努めました。

③ケアマネジャー支援

- ①介護環境アドバイザー山下総司氏を講師に、「認知症の方が安心して過ごせる環境づくり」をテーマにケアマネジャー向けに研修を開催。37名参加。
- ②所内研修に山出貴宏氏を迎え、「現場でのケアプランの活かし方について」をテーマに実施。近隣居宅支援事業所にも声をかけ、ケアマネジャーも出席。法令遵守しながら、既存の考えにとらわれず、対象の方をみていくようなヒントとなりました。
- ③のば元気のちかみちネットワーク
「予防プランミニ勉強会」実施。予防プラン委託事業所 11事業所 参加者 13名
内容…介護予防ケアマネジメント基礎編、参加者同士の意見交換
- ④ケアマネジャーからあがった相談内容を地域活動している支援者につなげました。
(地域で対応出来るかどうかの検討や、ケアマネジャーからのニーズを地域の支援者に伝える)
- ⑤介護保険サービスの支払いがうまくいかないケースの相談がケアマネジャーから数件あがり、生活困窮担当につなげるよう努め、その後生活困窮担当だけでは、話が進まない場合、関係者が集まる場を設定。問題解決に向け、話し合いを行いました。
- ⑥区内包括主任ケアマネ・区との協働事業開催
 - 新任ケアマネ研修を開催。
 - ・7か所の施設見学を実施。年度後半では、「法令について」「面接への招待」「アセスメント思考プロセス」「サービス担当者会議の開催について」「事例検討」等をテーマに研修を実施。研修終了後は、同期で学びを続けたいとの声が例年と同様上がり、勉強会が立ち上がりました。
 - ケアマネジメント講座開催 2回
 - ・6月「インフォーマルサービスを知ろう」を実施。ケアマネジャー43名参加。ケアプランにインフォーマルサービスを取り入れられるようサービスBとして登録した住民参加型活動グループを中心に、ケアマネジャー向けに日頃の活動内容を説明。
 - ・7月「介護保険法改正から見えるケアマネジャーの目指すべき方向性」をテーマに実施。ケアマネジャー53名参加。講師：神奈川県介護支援専門員協会理事長
 - 2月居宅支援事業所の管理者向けの研修
 - ・「これからの居宅管理者及び主任ケアマネジャーについて」～地域包括ケアシステムの中での役割～をテーマに実施しました。
- ⑦区ケアマネ連絡会に出席。事務局会議の内容は区内包括主任ケアマネで共有し、ケアマネ支援を実施しました。(奇数月開催)
- ⑧ケアマネサロンを2ヶ所のケアプラザで実施。制度等について学ぶだけではなく、サロンを通じて、ケアマネ同士また多職種の交流の場にもなりました。
- ⑨随時サービス担当者会議開催場所の提供、困難事例の担当者会議の開催支援を行いました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

「加齢により、身体機能、認知力がみられ、日常生活をうまく送ることができない場合について」をテーマに地域ケア会議を開催しました。

今回のテーマのような事例は、総合相談にもあがり、今後ますます増えて来ると思われます。住み慣れた地域での生活を継続していくためには、日頃からのつながりが必要であると感じたとの声があがりました。また、各自治会等で行われている見守り、助けあい活動を充実させるために、見守り活動を行うメンバーを増やすことが課題であることを再認識しました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）
①のば元気のちかみちネットワーク（全2回） 第1回「予防プランミニ勉強会」 予防プラン委託事業所11事業所 参加者13名 内容…介護予防ケアマネジメント基礎編、参加者同士の意見交換 第2回「地域活動団体交流会」 5団体（地域の通いの場） 参加者15名 内容…「グループ活動の継続と活性化のために」
②1月港南区介護予防ケアマネジメント研修実施予定 （担当包括・野庭、港南台、港南中央）。 内容…ICFを活用した介護予防ケアマネジメント
③予防プラン作成 約2,607件/年（委託率98%）。42か所の委託事業所と毎月の利用者状況報告書を利用し情報共有。委託事業所ごとに包括担当職員を置き連携に力を入れました。
④利用者アンケートの結果より「介護保険の対象とならないサービスについて」情報提供の工夫が必要であると分析。予防支援の方が多く利用されているインフォーマルサービスの案内チラシを1月に作成しました。
⑤委託事業所をはじめ地域住民、各関係機関・団体に配布、配架し情報発信・活用促進に努めました。 ・地域活動情報誌「のば元気のちかみち」「くじらウオーカー」 ・地域資源情報誌「のば生活応援マップ」 ・有償移送・同行サービス一覧（介護保険外）

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業
①のば元気のちかみちネットワーク 第2回 地域活動団体交流会 5団体 参加者15名 内容：「グループ活動の継続と活性化のために」
②元気づくりステーション「ひざちゃんクラブ」立ち上げ支援を実施。（2回/月）
③野庭団地第14自治会サロン立ち上げ支援実施 ※自治会長からの運営の相談を重ね11月に第1回を開催「おしゃべりサロン」。住民同士の交流の場として継続支援していく。
④「野庭ふれあいまつり」で健康チェックコーナー（フットケア、口腔ケア、スモーカーイグ-検査、血管年齢測定）を開催。参加者延324名。
⑤介護予防講座「元気のちかみち2018（全4回）」を開催（参加者 延89名）。 内容：介護予防の必要性、認知症予防、ロコモ予防、低栄養予防、口腔ケア、フットケア
⑥いつまでも歩ける体づくり講座（全3回）を開催 内容：関節痛予防改善体操
⑦介護予防の出前講座4回開催（参加者 延128名） 内容：認知症予防3回、ロコモ予防1回
⑧ボランティア育成講座「団暖会ぽかぽかハートネットワーク（全2回）」を開催。 内容：第1回 認知症体験-養成講座（参加者39名、NOBAメイトの会協力） 第2回 認知症がある人の理解（参加者43名）

- ⑨ ボランティアグループ「元気のちかみち隊」「NOBAメイトの会（認知症キャラバンメイトの会）」の定例会に参加し運営を支援しました。
- ⑩ 元気づくりST「のびるの会」支援を実施しました。
- ⑪ 介護予防講座OB会「てんとうむし」「チャコの会」「ベルの会」の支援を実施しました。※てんとうむし参加者減少により体験会企画（骨密度測定イベントを企画）

■ 施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ・ 長年の使用による設備、備品の劣化や、不備等の発生が多くなっています。発生した場合は、行政と連携して支障がないように迅速に対応しました。
- ・ 来館者、利用者が安心、安全、快適にご利用頂ける様、建物、施設内の設備機器、備品類等の管理、メンテナンスに努めました。
- ・ 施設内の日常清掃や手すり、貸し館備品等の消毒を行い、清潔感ある館内であるように努めました。
- ・ 野庭地区センターとの複合施設として施設管理、植栽管理等に係る情報共有に努め適正な施設の維持管理に努めました。

イ 効率的な運営への取組について

- ・ 事業目標を達成する為に、事業計画、予算を計画的に遂行しました。
- ・ 事業を効率よく運営していく為、職員同士が円滑にコミュニケーションできる、所内で各種情報を共有できる環境づくりに努めました。
- ・ 予算内で適正運営を行っていく共通認識を持ち、経費削減に努めました。

ウ 苦情受付体制について

- ・ 法人共通の「苦情解決取り扱い要綱」に則り、要望・苦情に関しては、迅速かつ適切に対応しました。
- ・ 受付窓口、デイルームに、苦情・要望の対応方法等をわかりやすく説明した「苦情解決の仕組み」を掲示しました。
- ・ ご意見箱の設置（事務所受付・デイサービス洗面所）やご意見ダイヤルの案内を掲示して、来館者、利用者の苦情・要望を寄せやすくしました。
- ・ ホームページや広報紙に、ケアプラザに対するご意見、ご要望用のメールアドレスを掲載して、幅広く地域からの声が拾える体制を整えました。
- ・ 接遇、マナーに関する職員研修を実施して、利用者一人ひとりに満足して利用して頂ける施設を目指しました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・災害発生時には、災害応急マニュアルに則り運営しました。
- ・福祉避難所として、食料、水、避難物資等の不足がないように災害応急備蓄を計画的に整備しています。
- ・事故や感染症発生時に、迅速かつ適切に対応できるようにリスクマネジメント研修を実施しました。
- ・施設内及び外部での緊急事態に備えて AED を設置しています。
- ・警備会社による機械警備を実施しています。異常時には、24 時間、警備員が施設に急行する体制を整えています。
- ・野庭地区センターとの合同で、防災訓練を 2 回実施、通所介護の単独避難訓練を 2 回実施しました。

オ 事故防止への取組について

- ・事故発生時は、「ヒヤリハット・事故規定」に則り、カンファレンスを開催して対応策等の情報を共有し再発防止策を実施しています。
- ・ヒヤリハットは、部署内だけではなくリスクマネジメント委員会でも分析、対応策等の検討を行い所内全体で共有、事故の未然防止に努めています。
- ・リスクマネージャーを中心に事件事例や、事故防止の取組みを検討、事故対応、防止策の統一事項を、職員に提言、周知に努めています。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・「個人情報保護管理規程」に則り、保有する個人情報を適切に取り扱っています。
- ・個人情報が記載されている物の取扱いを慎重に行い、漏洩防止に努めています。
 - 施錠のかかる棚、引き出し等への保管徹底
 - FAX送信取扱い時に複数によるダブルチェック、個人が特定できないようマスキングを実施
 - USBの保管状況確認一覧を作成し、管理ナンバーを付けてのデータ内容把握、保管管理場所の徹底
 - ケアプラザ所有携帯電話、PCデータ漏洩防止の為、各自の暗証番号を設定、セキュリティによる管理の徹底
 - 裏紙再利用の際、複数によるダブルチェックの徹底
- ・個人情報、プライバシー保護に関する研修を開催しました。
- ・「特定個人情報取り扱い要領」に則り、マイナンバーの取扱いに関しては、施設業務において厳格に対応しました。

キ 情報公開への取組について

- ・地域ケアプラザ便り、広報紙を定期的に発行しました。
- ・ホームページを活用して、最新情報、各種事業案内等を公開しました。
- ・事業報告、事業計画、各種要綱等は、受付窓口にて閲覧できるようにしました。
- ・野庭地域ケアプラザ運営協議会を開催し、事業計画、報告、懸案議題、地域の現状課題等の意見交換を行い、運営委員の方々との情報提供・情報共有の場となっています。
- ・各部署で実施した利用者アンケートは、集計・考察結果を情報開示しました。

ク 人権啓発への取組について

- ・地域支援や居宅介護支援、相談業務等に携わる職員として、人権配慮が、態度や行動に現れるような感覚を持てるように、人権尊重の理念についての理解を深めるようケアプラザ全体で努めました。
- ・人権尊重の大切さや人権について考えるきっかけとなる内容を盛り込んだ広報紙等を、様々な機会に配布・掲示しました。

ケ 環境等への配慮及び取組について

- ・建物周辺、野庭中央公園のゴミ回収等を毎日行いました。
- ・「ヨコハマ 3R 夢」を推進し、資源ゴミの分別排出を職場内で徹底しました。
- ・植栽の維持管理は、外部業者に委託し良好な景観保持に努めました。
- ・管理標準に則り、環境等への配慮に取り組んでいます。
 - 適切な冷暖房の使用に心がけ、館内の空調が適正温度になるように努めました。
 - 使用していない部屋の消灯に心がけました。
 - 不使用時の印刷機・パソコン等は電源を落とすよう心がけました。
- ・フロン排出抑制法に則り、対象機器の適正な使用環境を維持、確保し管理、点検に努めました。
- ・印刷機のトナー等はリサイクルで対応しました。

■ 介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

管理者（保健師等と兼務）	1名
保健師等	1名
社会福祉士	2名
主任ケアマネジャー	1名
事務（非常勤）	1名

《取り組み状況》

- ・ 事業対象者、要支援者の主体的な行動や活動意欲を引き出し目標指向型の介護予防プランを作成しました。
- ・ 予防プランには介護保険サービスの他に地域の様々な社会資源を活用しました。
- ・ 委託先のケアマネジャーが適切なケアマネジメントができるよう介護予防支援業務に関する研修会等を実施し、スキルアップを目指しました。
- ・ 委託事業所（居宅介護支援事業所）のケアマネジャーやサービス提供事業者など関係団体の連携のためのネットワーク強化をはかりました。又、担当エリアの介護予防活動をはじめとするインフォーマルサービスの情報を積極的に発信しました。

《実費負担》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 介護予防講座「元気のちかみち 2018」、のば健康講座、ロコモ予防講座、健康出前講座を開催しました。
- ・ 介護予防・生活支援 NT「のば元気のちかみちネットワーク」にて関係団体との意見交換等で総合事業を推進し多様なサービスが活用できる地域づくりに取り組みました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
218	214	210	213	216	219
10月	11月	12月	1月	2月	3月
220	219	222	218	221	217

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者（常勤兼務） 1名
 介護支援専門員（常勤） 3名
 介護支援専門員（非常勤） 2名

《取り組み状況》

- ・各種相談に迅速に対応ができるように事業所内での情報共有や、関係機関との連携を強化しました。
- ・医療依存度の高い方、ターミナルケアの受け入れを積極的に行います。適切なプラン作成のための医療知識の習得に努めました。
- ・地域包括、生活支援との連携を深め、社会資源を盛り込んだ自立支援を目指すケアプランの作成に努めました。

《実費負担》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・地域包括支援センターの受託法人の居宅支援事業所として、地域包括・区役所高齢障害担当ケースワーカーとの連携を密にとりながら、支援困難な事例にも積極的に対応しました。
- ・地域の取り組みを実際目で把握し、介護保険以外の社会資源も対象者には積極的に提案していきます。自立の意識が持てるようなプランの作成に努めました。
- ・医療機関との連携も強化し、医療依存度の高い方も積極的に受け入れ、ご本人の安楽と、ご家族のメンタル面でのケアにも誠意をもって対応しました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
128	127	131	135	135	139
10月	11月	12月	1月	2月	3月
140	133	138	145	144	145

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- ・健康チェック、入浴、食事、清潔、排泄ケア 個別機能訓練、介護者相談
- ・日常生活上の支援

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

	1割負担分	2割負担分
(要介護1)	662円	1323円
(要介護2)	782円	1563円
(要介護3)	905円	1810円
(要介護4)	1030円	2059円
(要介護5)	1154円	2307円

- 食費負担（おやつ含む） 710円
- 有償サービス 紙パンツ120円、紙パット50円

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》9:30~16:30

《職員体制》

管理者	1名	(常勤兼務)
生活相談員	2名	(介護福祉士) 常勤専従1名 常勤兼務1名
看護職	5名	(看護師) 常勤兼務1名 非常勤兼務4名
介護職	13名	(介護福祉士等) 常勤兼務1名 非常勤専従12名
機能訓練指導員	5名	(看護師) 常勤兼務1名 非常勤兼務4名
運転手・事務員	7名	非常勤

《取り組み状況》

- ・自立支援に向けて、入浴、食事、趣味娯楽、個別機能訓練などを介護職・専門看護職がプランを作成しサービス提供しました。
- ・ご利用者の意見を尊重し、少人数レクリエーションやクラブ活動趣味活動のプログラム支援を行いました。
- ・ご利用者が明るく楽しく生き甲斐を持って過ごして頂けるよう工夫しました。
- ・ご利用者のニーズに対応できるよう、常にサービス向上を目指しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

ご利用者が在宅生活を継続できるように、個別機能訓練等で可能な動作を最大限に活かし脳の活性化・手先を鍛える・身体を鍛える・身体を癒す等のリハビリに繋がるようなプログラムを選択し、楽しんでまた意欲的に行えるような支援に努めました。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
933	976	946	947	906	883
10月	11月	12月	1月	2月	3月
973	928	857	839	870	923

● 介護予防通所介護・第1号通所事業

《提供するサービス内容》

- ・介護者相談・健康チェック・入浴・食事・清潔・排泄ケア
- ・運動器機能訓練：歩行訓練・階段昇降・転倒予防運動（各種の用具使用）
- ・生活機能向上グループ活動：グループ体操・創作活動

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

	1割負担分	2割負担分
要支援1	1766円	3531円
要支援2（週1回）	1766円	3531円
要支援2（週2回）	3621円	7241円

- 食費負担（おやつ含む） 710円
- 有償サービス 紙パンツ120円、紙パット50円

《事業実施日数》対象者が通所している曜日、週7日（生活向上グループ活動実施）

《提供時間》 9：30 ～16：30 但し、途中でも自由に帰宅できます

《職員体制》

管理者	1名（常勤兼務）
生活相談員	2名（介護福祉士）常勤専従1名 常勤兼務1名
看護職	5名（看護師）常勤兼務1名 非常勤兼務4名
介護職	13名（介護福祉士等）常勤兼務1名 非常勤専従12名
機能訓練指導員	5名（看護師）常勤兼務1名 非常勤兼務4名
運転手・事務員	7名 非常勤

《取り組み状況》

・「本人のできることはできる限り本人が行う」ことが重要であり、運動器機能向上や社会と積極的に接する機会を提供することにより自立支援を促しました。その結果を、評価シートを用いてフィードバックしています。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・専門技術を学んだ職員が階段昇降台、ペダルこぎ、平行棒を新たに増やし筋力アップ等の運動器機能向上を図りました。記入していただくことで飽きない工夫を凝らし、楽しくできるように配慮しました。
- ・在宅生活が継続できるように、脳の活性化、手先を鍛える、身体を鍛える、身体を癒す等のリハビリに繋がるプログラムを実施しました。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
46	47	45	53	70	70
10月	11月	12月	1月	2月	3月
80	75	58	59	59	62

平成30年度「横浜市野産地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	13,787,912	0	13,787,912	13,787,912	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	0	0	
自主事業収入			0	763,367	△ 763,367	
雑入	0		0	55,465	△ 55,465	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料			0	55,465	△ 55,465	
駐車場利用料金収入			0	0	0	
その他（指定管理料充当分）	0		0	0	0	
その他（施設使用料相当額 法人負担分）	3,587,500		3,587,500	3,587,500	0	
その他（提案時控除 法人負担分）	3,032,225		3,032,225	3,032,225	0	GND光熱費控除139,588、提案額利用料金収支の活用2,892,637
収入合計	20,407,637	0	20,407,637	21,226,469	△ 818,832	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	13,109,159	0	13,109,159	13,443,116	△ 333,957	
本俸	8,671,705		8,671,705	9,089,806	△ 418,101	
社会保険料	1,214,074		1,214,074	1,245,652	△ 31,578	
手当計	3,030,859		3,030,859	3,047,981	△ 17,122	
健康診断費	40,298		40,298	47,482	△ 7,184	
勤労者福祉共済掛金	7,315		7,315	7,350	△ 35	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
その他	144,908		144,908	4,845	140,063	
事務費	1,521,221	0	1,521,221	1,105,206	416,015	
旅費	20,208		20,208	12,340	7,868	
消耗品費	221,881		221,881	126,282	95,599	
会議購入費	8,528		8,528	0	8,528	
印刷製本費	129,343		129,343	89,521	39,822	
通信費	413,071		413,071	234,183	178,888	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費	31,227		31,227	60,468	△ 29,241	第三者評価
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	0		0	0	0	
職員等研修費	0		0	9,900	△ 9,900	
振込手数料	79,861		79,861	10,614	69,247	
リース料	116,940		116,940	57,897	59,043	AEDリース等
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	500,162	0	500,162	504,001	△ 3,839	広報費・保守料等
事業費	107,901	0	107,901	782,200	△ 674,299	
運営協議会経費	42,000		42,000	3,885	38,115	
指定管理料充当 事業	65,901		65,901	778,315	△ 712,414	男性クッキング等経費
管理費	4,620,623	0	4,620,623	4,008,114	612,509	
建築物・建築設備点検		0	0	0	0	
光熱水費	2,662,039	0	2,662,039	2,596,667	65,372	
電気料金			0	705,002	△ 705,002	
ガス料金			0	935,878	△ 935,878	
水道料金			0	955,787	△ 955,787	
清掃費	620,071		620,071	488,457	131,614	
修繕費	474,000	0	474,000	228,996	245,004	多目的ホール照明修理等
機械整備費	73,178		73,178	57,792	15,386	
設備保全費	508,781	0	508,781	402,671	106,110	
空調衛生設備保守	319,291		319,291	252,160	67,131	
消防設備保守	30,928		30,928	24,426	6,502	
電気設備保守	35,284		35,284	27,866	7,418	
害虫駆除清掃保守	10,237		10,237	8,085	2,152	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	113,041		113,041	90,134	22,907	
共益費	0		0	0	0	
その他	282,554		282,554	233,531	49,023	植栽管理・煤煙測定等
公租公課	1,048,733	0	1,048,733	1,075,449	△ 26,716	
事業所税			0	0	0	
消費税	1,048,733		1,048,733	1,075,449	△ 26,716	
印紙税			0	0	0	
その他（ ）			0	0	0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	20,407,637	0	20,407,637	20,414,085	△ 6,448	
差引	0	0	0	812,384	△ 812,384	

自主事業費収入	65,901		65,901	763,367	△ 697,466	自主事業への参加料等
自主事業費支出	65,901		65,901	778,315	△ 712,414	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 14,948	14,948	

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	55,465	△ 55,465	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	55,465	△ 55,465	

平成30年度「横浜市野庭地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	28,569,000	0	28,569,000	28,569,000	0	横浜市より
指定管理料（介護予防）	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,789,000		5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当事業（包括）	0		0		0	
指定管理料充当事業（介護予防）	0		0		0	
指定管理料充当事業（生活支援）	0		0		0	
自主事業収入			0	29,600	△ 29,600	
雑入	0	0	0	55,461	△ 55,461	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	55,461	△ 55,461	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他（指定管理充当分）	0		0	0	0	
その他（提案時控除 法人負担分）	2,824,804		2,824,804	2,824,804	0	施設利用料金活用分
収入合計	37,333,804	0	37,333,804	37,418,865	△ 85,061	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	33,395,023	0	33,395,023	24,698,739	8,696,284	
本俸	20,802,983		20,802,983	15,276,608	5,526,375	
社会保険料	4,191,840		4,191,840	3,114,898	1,076,942	
手当計	7,843,652		7,843,652	6,213,185	1,630,467	
健康診断費	86,363		86,363	59,246	27,117	
勤労者福祉共済掛金	33,332		33,332	28,850	6,482	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
その他	436,853		436,853	7,952	428,901	
事務費	1,569,526	0	1,569,526	1,459,677	109,849	
旅費	16,356		16,356	33,374	△ 17,018	
消耗品費	81,293		81,293	74,259	7,034	
会議随費	632		632	0	632	
印刷製本費	19,563		19,563	25,050	△ 5,487	
通信費	176,084		176,084	204,318	△ 28,234	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	313,748	△ 313,748	パソコン購入・国保連バージョンアップ
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	0		0	0	0	
職員等研修費	25,941		25,941	21,700	4,241	
振込手数料	550,736		550,736	12,875	537,861	
リース料	173,589		173,589	225,005	△ 51,416	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	525,332	0	525,332	549,348	△ 24,016	広報費・保守料等
事業費	1,140,998	0	1,140,998	676,563	464,435	
協力医	630,000		630,000	294,000	336,000	
指定管理料充当 事業（包括）	50,998		50,998	35,067	15,931	
指定管理料充当 事業（介護予防）	151,000		151,000	151,000	0	
指定管理料充当 事業（生活支援）	309,000		309,000	196,496	112,504	
管理費	1,228,257	0	1,228,257	1,071,391	156,866	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	
光熱水費	699,967	0	699,967	690,253	9,714	
電気料金			0	187,405	△ 187,405	
ガス料金			0	248,778	△ 248,778	
水道料金			0	254,070	△ 254,070	
清掃費	163,041		163,041	129,841	33,200	
修繕費	126,000		126,000	60,869	65,131	
機械整備費	19,241		19,241	15,362	3,879	
設備保全費	133,774	0	133,774	107,034	26,740	
空調衛生設備保守	83,955		83,955	67,029	16,926	
消防設備保守	8,131		8,131	6,492	1,639	
電気設備保守	9,277		9,277	7,407	1,870	
害虫駆除清掃保守	2,690		2,690	2,148	542	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	29,721		29,721	23,958	5,763	
共益費	0		0	0	0	
その他	86,234		86,234	68,032	18,202	植栽管理・煤煙測定等
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他（ ）			0	0	0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記）	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	37,333,804	0	37,333,804	27,906,370	9,427,434	
差引	0	0	0	9,512,495	△ 9,512,495	

自主事業費収入	0		0	29,600	△ 29,600	自主事業への参加料等
自主事業費支出	0		0	382,563	△ 382,563	自主事業経費
自主事業収支	0		0	△ 352,963	352,963	

管理許可・目的外使用許可収入			0		0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出			0		0	使用料（横浜市への支払等）
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	

★指定管理業務・委託業務として実施している介護保険事業のみ、対象です。

平成30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名：横浜市野庭地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位：千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	5678	6429	-751	23633	21897	1736	115398	112019	3379	3062	3685	-623
	その他	6138	6714	-576	1505	2029	-524	9205	8513	692	429	559	-130
	介護予防ケアマネジメント費	6138	6714	-576			0			0			0
	事業・負担金収入			0			0			0			0
	介護認定調査委託費			0	1416	1956	-540			0			0
	雑収入費			0			0	8531	7971	560	415	524	-109
				0			0			0			0
	その他			0	89	73	16	674	542	132	14	35	-21
	収入合計(A)	11816	13143	-1327	25138	23926	1212	124603	120532	4071	3491	4244	-753
支出	人件費			0	21270	21499	-229	51621	51957	-336	2660	3434	-774
	事務費			0			0			0			0
	事業費			0	1355	1230	125	22451	22423	28	1157	1482	-325
	管理費			0	856	854	2	6245	6141	104	320	405	-85
	その他	8961	11108	-2147	0	92	-92	120	351	-231	0	21	-21
	利用者負担軽減額			0			0	120	33	87			0
	消費税			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	8961	11108	-2147			0			0			0
				0			0			0			0
	その他			0		92	-92		318	-318		21	-21
支出合計(B)	8961	11108	-2147	23481	23675	-194	80437	80872	-435	4137	5342	-1205	
収支(A)-(B)	2855	2035	820	1657	251	1406	44166	39660	4506	-646	-1098	452	

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市野庭地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
介護予防普及強化事業 元気のちかみち2018	地域住民	62110	地活		0	0	31,600	30,510	0
	89人		包括	62,110					
	-		介護						
			生活						
(介護予防生活支援事業連絡会) のば元気のちかみち ネットワーク	地域活動団体	1609	地活		1500	0	0	1,609	0
	15人		包括	109					
	100円		介護						
			生活						
見守りネットのば連絡会	関係団体・地域住民	12400	地活		0	0	0	0	12,400
	57名		包括	12,400					
	-		介護						
			生活						
元気づくりST事業 ひざちゃんクラブ	地域住民	0	地活		0	0	0	0	0
	137名		包括	0					
	-		介護						
			生活						
なごみの会 (介護者のつどい)	介護者など	0	地活		0	0	0	0	0
	24名		包括	0					
	-		介護						
			生活						
出前講座	地域住民	4428	地活		0	0	0	4428	0
	541名		包括	4428					
	-		介護						
			生活						
転ばぬ先の杖	地域住民	0	地活		0	0	0	0	0
	27名		包括	0					
	-		介護						
			生活						
民生委員とケアマネ ジャーとの連絡会	民生委員 ケアマネージャー	0	地活		0	0	0	0	0
	30名		包括						
	-		介護						
			生活						
ケアマネジメント講座	ケアマネジャー・介護保険事業者	20000	地活		0	0		20000	0
	46名		包括	20000					
			介護						
			生活						
いつまでも歩ける体づく り 講座	地域住民	49800	地活		0	0	49800	0	0
	125名		包括	49800					
			介護						
			生活						
健康チェックコーナー (野庭ふれあいまつり)	地域住民	22202	地活		0	0	15060	7142	0
	324名		包括	22202					
			介護						
			生活						
男性クッキングのば	地域住民	101281	地活	5281	96000	0	72168	29113	0
	83名		包括						
			介護						
			生活						

平成30年度 自主事業収支報告書

どれみの森のおともだち	地域住民	72740	地活	3140	69600	0	60140	12600	0
	301名		包括						
			介護生活						
のびのびヨガ	地域住民	276611	地活	11	276600	0	161370	115241	0
	373名		包括						
			介護生活						
ママと子のおしゃべりサロン	地域住民	7056	地活	156	6900	0	0	7056	0
	178名		包括						
			介護生活						
にこにこのばサロン	地域住民	33378	地活	578	22800	0	10000	23378	0
	228名		包括	10000					
			介護生活						
港南なつっこ	地域住民	18677	地活	0	6000	12677	0	18677	0
	6名		包括						
			介護生活						
野庭住宅夏祭り	地域住民	66231	地活	31	66200	0	0	66231	0
	名		包括						
			介護生活						
野庭ふれあいまつり	地域住民	84635	地活	85	84550	0	0	84635	0
	180名		包括						
			介護生活						
子どもフェスティバル	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	438名		包括						
			介護生活						
野庭住宅チャリティーバザー	地域住民	25413	地活	73	25340	0	0	25413	0
	名		包括						
			介護生活						
団暖会ぽかぽかハートネットワーク	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	82名		包括						
			介護生活						
うたの広場	地域住民	25301	地活	101	25200	0	21048	4253	0
	126名		包括						
			介護生活						
子育てママの健康美ヨガ	地域住民	76992	地活	5492	71500	0	70160	6832	0
	109名		包括						
			介護生活						
のばこども食堂	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	233名		包括						
			介護生活						
みぢかな芸術家	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	名		包括						
			介護生活						

平成30年度 自主事業収支報告書

おぎ原まこと のこぎりミニコンサート	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	48名		包括						
			介護						
			生活						

平成30年度 自主事業報告書

横浜市野庭地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護予防生活支援連絡会のば元気のちかみちネットワーク	野庭地域の実情に合わせた多様で柔軟な生活支援のある地域づくり、また介護予防・生活支援活動の活性化と各関係機関、団体のネットワークづくりを目的とし開催しました。	平成30年度 2回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康チェックコーナー (野庭ふれあいまつり)	ケアプラザ・地区センターの合同まつり（ふれあいまつり）で健康チェックコーナーを設け、介護予防普及啓発活動を行いました。	平成30年10月 1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(介護予防普及強化事業) 元気のちかみち 2018	高齢者が住み慣れた身近な地域で介護予防を意識し、介護予防の具体的な取り組みを始めるきっかけとなる機会を提供し、日常生活の中で身体状況に応じた介護予防活動を実践する高齢者がふえることを目指し開催しました。	平成30年5月 全4回1コース開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(介護予防普及強化業) いつまでも歩ける 体づくり講座	介護要因の第2位を占めるロコモティブシンドロームを予防することを目的として開催。関節痛予防改善体操を中心に実施しました。	平成30年6・10月 平成31年1月 3回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気づくりST事業 ひざちゃんクラブ	高齢者が地域の中で人とつながりながら健康で生きがいのある活動的な生活を送ることができることを目的に元気づくりステーションの立ち上げと継続的な支援を行いました。	平成30年7月～9月 6回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
なごみの会 (介護者のつどい)	認知症の家族の介護をされている方、ご自身やご家族の介護についてご関心のある方、介護経験のある方などを対象に、他の方と話し合ったり、介護に役立つ勉強会をしたりしながら、気持ちを「なごやか」することを目的として実施しました。	10回開催 毎月第3木曜日 (8月・1月は休み)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出前講座	介護保険制度、認知症予防、介護予防、悪質商法や成年後見制度などの普及啓発を目的とした出前講座を随時実施しました（認知症サポーター養成講座含）。	平成30年4月～ 平成31年3月 15回開催

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
見守りネットのば連絡会	地域の高齢者の生活の支援、また緊急時における体制を確立するために、地域包括支援センターと配達事業者とで、安否確認のネットワークを構築していくために連絡会を開催しました。	平成30年度 1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
民生委員とケアマネジャーとの連絡会	地域のネットワーク構築の一環として、ケアマネジャーと民生委員との関係作りを目的に情報交換会を実施しました。	平成30年度 1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
転ばぬ先の杖	介護の場面に直面したとき、介護する方、介護される方が共に安心して生活がおくれ、住み慣れた地域で最後まで暮らしていけるよう、介護に役に立つ情報や基礎知識が得られる講座を開催しました。	平成30年度 1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネジメント講座	地域包括ケアシステムの構築に向けて、「自立支援」の視点をケアプランに取り入れるよう、ケアマネジャー向けに研修を実施しました。	平成30年度 3回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域でのささえあい研修会	これから高齢化が進む中、緊急時の安否確認の体制を整えるため、地域と事業者とで研修会を行いました。	平成30年度 1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性クッキングのば	男性が調理をすることでセカンドライフの充実、地域の仲間作りと交流、野庭ふれあいまつりへのボランティア参加を目的として行いました。	平成30年4月から平成31年3月まで全12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
どれみの森のおともだち	子育て支援として音楽や・リズム遊びを取り入れ親子のふれあいを密にし、子育てに関する不安や悩みの解消、母子のストレス発散と仲間作り・子育ての情報交換の場として開催しました。	平成30年4月から平成31年3月までの全10回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
のびのびヨガ教室	高齢化による身体の衰えを過剰な運動ではなく、ゆっくりとした運動による動きを中心とした、ヨガにより心身のストレスを解消するために行いました。	平成30年4月から平成31年3月まで全23回開催

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママと子の おしゃべりサロン	地域の子育て支援者、保育園等と協力し日頃の子育てに関する悩みや、不安を軽減する仲間作り・憩いの場として開催し、毎回季節感のある行事を実施し親子で楽しんで頂きました。	平成30年4月から平成31年3月まで 全10回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
にこにこ野庭サロン	高齢者の外出支援を目的に地域の井戸端会議的な集いを提供する事を目的としました。地域包括支援センター共催。	平成30年4月から平成31年3月まで 全10回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
港南なつっこ	港南区社会福祉協議会との協働事業で障がい児余暇活動支援事業の一環として、ケアプラザとして会場の提供を行い夏休み期間中に遊ぶ時間を作り思い出作りをしてもらおうという企画の支援を行いました	平成30年8月6日
事業名	目的・内容	実施時期・回数
野庭住宅連合自治会 夏祭り	野庭中央公園で開催される地域自治会主催の夏祭りに参加し、地域の一員として地域との交流を活発に行うために参加しました。模擬店の内容は子どもを対象とした「おもちゃ」販売を行いました。	平成30年8月18日
事業名	目的・内容	実施時期・回数
野庭ふれあいまつり	地区センターとの共催による事業で子どもから大人まで、地域住民の方が楽しめる企画開催しました。	平成30年10月7日
事業名	目的・内容	実施時期・回数
遊びにおいてよこ どもフェス ティバル 2018	地域の保育園・幼稚園・区役所子育て支援課・港南土木事務所・交通局・消防署・地域自治会・民児協・地区社協等の人的資源が協働し子育て支援として事業を開催しました。	平成30年11月7日
事業名	目的・内容	実施時期・回数
野庭住宅チャリ ティーバザー&福 祉フェスタへの参 加	地域福祉事業の一環として、野庭住宅社会福祉協議会主宰の野庭中央公園チャリティーバザーに参加し、地域団体と地域住民との交流を目的とし参加しました。また売り上げの一部をバザー協賛金としました。	平成30年11月25日
事業名	目的・内容	実施時期・回数
団暖会 ぽかぽかハート ネットワーク	地域ケアプラザとボランティアとの関係をよりよくするために勉強会、交流会を開催し、日頃のボランティア活動に対する問題点や希望・要望について意見を伺い、より一層の関係強化を図ることを目的に行いました。	平成30年 10月17日 11月12日 2回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
うたの広場	地域の仲間作り支援として季節の歌を中心に童謡や愛唱歌を歌い楽しんでいただくことを目的に開催しました。	平成30年度 6月27日、11月28 日、3月13日 3回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てママの 健康美ヨガ	子育てのママ自身のリフレッシュ・健康保持の目的で開催いたしました。	平成30年4月から平成31年3月まで 全10回開催

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
のぼこども食堂	子どもの孤食や居場所作りの支援、地域交流の場として開催いたしました。	平成30年4月から平成31年3月まで全12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みぢかな芸術家たち	地域のみぢかな芸術家を発掘し、その作品を展示し地域の方たちに観て頂き、文化交流の場を提供することを目的として、ケアプラザ廊下に展示しました。	平成30年4月から平成31年3月まで全12回開催